

道路愛称事業

みなさん・私の名前を
覚えてね!



▶街路樹が美しい青葉通り

市は、生活空間としての道路に親しみと潤いを与え、快適で美しく、楽しい道路環境づくりの一環として、昨年、市内の数ある路線のうち七路線を指定して、広く市民の皆さんから道路愛称名を募集していました。

その結果、皆さんから一八九〇通(九六七種類)が寄せられ、道路愛称選定会議で慎重に審査し、愛称名が決まりましたのでお知らせします。

新しくつけられた道路愛称名を一日も早く覚えてくださいね!

ロマンと親しみやすさを基本に選定

みなさんから応募していただいた道路愛称名は、総合的にはユニークでロマンのあるものが数多く寄せられました。

選定に当たっては審査員も非常に悩まされましたが、道路の系統や市街地の形成状況、将来にわた

つてのロマンと親しみやすさなどを基本に、各有識者及び関係自治会等から広く意見を聞き、七路線それぞれに次の愛称名をつけました。愛称名を入れた標識は、今年度中に設置をしていきます。

市民の皆さんにも一日も早く名前を覚えていただき、道路と地域の結びつきを強め、道路愛護の思想を高めましょう。

この道路愛称事業は、今年度七路線を行いました。来年度以降も路線を指定して、継続事業としていきます。

青葉通り



くすの木と市役所をかぶせた名称が多かったが、富士市のメイン道路として将来へ向かって緑あふれる美観道路ということで青葉通りに決定しました。

他の名称としては、くすの木通り、市民通り、市役所前通り、永田通り、文化通りなどが寄せられました。

弥生通り



市道名の弥生線が市民に定着し、呼びなれていることから応募者の二八パーセントが弥生通りで占め、吉原地区と鷹岡地区を結ぶ幹線道路であることから弥生通りとしました。

一方、ユニークな名称として、学生通り、五三〇道路、一中前通り、浅間通りなどがありました。





開駅が待たれる新幹線新駅に通ずる富士市の重要幹線道路であり、富士山の眺望も極めてよいことから、市外から富士市を訪れる人たちにも誇れる道路として富士見大通りにしました。

このほかでは、新幹線通り、銀杏通り、新富士駅通り、平和通り、麗峰通りなどがありました。



富士見大通り

昭和三十一年に静岡県で国体が開かれた際、市立体育館が卓球会場となり、天皇陛下の行幸により命名された御幸町との関係から御幸通りが定着しており、応募者も多く、地域になじんでいることから決定しました。

ほかには、市民会館通り、市民通り、いちよう通りなどが目立ちました。



御幸通り



富士本町通り



吉原本町通り



鷹岡本町通り



⑤から⑦については、新市のそれぞれ核となる中心商店街であり、旧市町の名称である吉原、富士、鷹岡をかぶせた名称が多く、歴史の流れの中にあっても旧市町名は忘れることのできないものであり、消したくないものとして今後も末永く愛称として残し、親しんでいくべきであり、市民にもわかりやすい愛称として決定しました。

愛称名当選者(敬称略)

個人情報保護のため非公開